

吹 田 の 産 業

1 吹田の産業

(1) 吹田の産業の特徴

吹田市の産業は、産業別人口、販売額を見ると、第3次産業、商業の比重が非常に高い。

吹田市の商業地域としては、大正時代から駅前にできた商店街や、千里ニュータウンの計画的なショッピングセンターがある。さらには、各沿線の駅ごとや大規模店舗を中心にしたものなど、各地でバラバラに発達しており、吹田市の核となるような場所はない。

吹田市の工業地域は、JR東海道本線沿いや神崎川沿岸に工場が集中している。また、昭和40年代に区画整理された江坂駅周辺は、大阪市の副都心の様相をなしており、多数の会社が本社機能を置いている。

業種的には、卸売・小売業が3,283事業所と最も多い。1事業所あたりの年間販売額を見ると卸売業157,738万円、小売業15,891万円と約10倍であり、北摂地域では多いほうである。中でも卸売額が多いのは機械器具や飲食料品といった分野である。

また、情報通信業の事業所数は174事業所で大阪府下（政令指定都市の大阪市、堺市を除く）の市町村では第1位の数字である。

	事業所数(所)	構成比(%)	従業者数(人)	構成比(%)
農 林 漁 業	1	0.0	1	0.0
鉱 業	—	—	—	—
建 設 業	768	7.2	8,240	5.9
製 造 業	457	4.3	9,256	6.6
電気・ガス・熱供給・水道業	16	0.1	799	0.6
情 報 通 信 業	174	1.6	3,905	2.8
運 輸 業	178	1.7	4,931	3.5
卸 売 ・ 小 売 業	3,283	30.8	37,160	26.4
金 融 ・ 保 険 業	135	1.3	3,584	2.5
不 動 産 業	864	8.1	3,395	2.4
飲 食 店 ・ 宿 泊 業	1,326	12.4	10,570	7.5
医 療 ・ 福 祉	914	8.6	17,249	12.2
教 育 ・ 学 習 支 援 業	492	4.6	14,299	10.2
複 合 サ ー ビ ス 業	57	0.5	811	0.6
サ ー ビ ス 業	1,977	18.5	24,394	17.3

(平成18年(2006年)「事業所・企業統計調査」より)

【産業別事業所数】

第1次産業 1 (0.1%)
 第2次産業 1,225 (11.5%)
 第3次産業 9,416 (88.4%)

【産業別従業者数】

第1次産業 1 (0.1%)
 第2次産業 17,496人 (12.6%)
 第3次産業 121,097人 (87.3%)

(2) 吹田の事業所規模

吹田市の事業所規模を見てみると 72.9%が従業員 10 人以下の小規模事業者である。近隣の豊中市 (80.9%)、茨木市 (75.8%)、高槻市 (78.5%) などと比べると比率としては低いが、吹田市内の事業所の多くを小規模事業所が占めている。

[規模別事業所数比較]

	吹田市		豊中市		高槻市		茨木市	
総数	10,346		13,434		9,175		8,886	
0人	52	0.5%	32	0.2%	12	0.1%	15	0.2%
1~4人	5,309	51.3%	8,195	61.0%	5,359	58.4%	4,986	56.1%
5~9人	2,187	21.1%	2,650	19.7%	1,838	20.0%	1,731	19.5%
10~29人	1,979	19.1%	1,888	14.1%	1,415	15.4%	1,535	17.3%
30~49人	421	4.1%	362	2.7%	271	3.0%	314	3.5%
50~99人	247	2.4%	200	1.5%	172	1.9%	190	2.1%
100人以上	151	1.5%	107	0.8%	108	1.2%	115	1.3%

(総務省統計局「事業所・企業統計調査」より)

(3) 吹田の商業の現況

本市の商業は地理的に大阪市という巨大な商業圏の影響を受け、商品（特に贈答品、高級衣料品等の買回り品）の購買が大阪市内で行われることが多い。

平成 19 年 (2007 年) 6 月 1 日現在の商業統計調査 (飲食店は調査対象に含まない) 結果によると、卸売・小売業の商店数は 3,080 店、年間販売額 2 兆 1,604 億 1,845 万円、常時従業者数 35,882 人である。

これは前回調査の平成 16 年 (2004 年) と比べると卸売・小売業の商店数は 9.1%の減少、常時従業者数は 0.8%の減少となっている。

年間販売額の変化を業種別に見ると、卸売業は 18.9%の増加、小売業は横ばいとなっている。

また、商店数を業種別に見ると、小売業 1,902 店(総数の 61.8%)、卸売業 1,178 店(総数の 38.2%)となっている。

(「施政概要」より抜粋)

【年間販売額】

卸売業 1,178 事業所 185,815,515 万円 (1 事業所あたり 157,738 万円)

小売業 1,902 事業所 30,226,330 万円 (1 事業所あたり 15,891 万円)

(平成 19 年 (2007 年) 6 月 1 日現在「商業統計調査」より)

吹田の卸売業の年間販売額は大阪府下で第2位であり、第3位の堺市と比べても倍近い販売額である。また、全国でも第34位である（第1位はいずれも大阪市）。都道府県レベルと比較しても青森県、岩手県、三重県、山口県などに匹敵するほどの販売額であり、卸売業が吹田を代表する産業といえる。

【大阪府下の卸売業年間販売額】

大阪市	21,675 事業所	42,752,623 (百万円)
吹田市	1,178 事業所	1,858,155 (百万円)
堺市	1,512 事業所	1,000,507 (百万円)

(平成19年(2007年)6月1日現在「商業統計調査」より)

(4) 吹田の工業の現況

本市の工業及び準工業地域は、280ha（全市域の7.8%）であり、主に神崎川及びJR東海道本線沿いに工場が集中している。

本市の場合、千里ニュータウンなどの住宅地を抱えているという性格から近隣都市に比べて用途地域としての工業及び準工業地域が少なく、工場の割合は小さい。

平成19年(2007年)工業統計調査によると事業所数（従業者4人以上）189事業所、従業者数は6,169人、製造品出荷額等2,746億3,140万円となっている。

(「施政概要」より抜粋)

(5) 吹田の労働力人口（市内就業者数）

吹田市は「ベッドタウン」という見方が一般的ではあるが、労働力人口（市内就業者数）を見ると、一概に「ベッドタウン」としての側面だけではないことがわかる。吹田市内の就業者総数は163,946人であり、そのうち99,501人が市外事業所に通勤、64,445人が市内事業所に通勤している。また、他市からも77,829人が吹田市内の事業所へ通勤している。合計すると昼間労働力人口は142,274人に上る。昼間人口が2万人強にとどまっており、大都市近郊では少ないほうである。

[労働力人口（市内就業者数）比較]

	市内就業者数	市内事業所へ	市外事業所へ	他市→市内事業所	昼間労働力人口	増減
吹田市	163,946	64,445	99,501	77,829	142,274	△21,672
豊中市	179,550	75,928	103,622	60,927	136,855	△42,695
高槻市	156,852	70,479	86,373	36,299	106,778	△50,074
茨木市	125,758	55,204	70,554	50,537	105,741	△20,017

(平成17年国勢調査より)